

# プラタナス

那須赤十字病院 広報誌

No.43

2024年11月発行

Japanese Red Cross Nasu Hospital

 日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

那須赤十字病院



がん診療対策推進室

がんゲノム医療連携病院に指定

就労支援再開

社会課

赤十字ってvol.7



マイタウン・マイホスピタル  
ミニニュース

お知らせ

# 10月1日がんゲノム医療連携病院に指定されました。1月検査開始。

## がんゲノム医療

### がんゲノム医療とは

当院は平成26年8月に厚生労働省より「地域がん診療連携拠点病院」に指定され、地域におけるがん治療の中心的な役割を担っています。さらに、今年10月から、がん治療の最前線である「がんゲノム医療連携病院」としても指定を受け、患者さんにも最先端の治療を提供する体制を整えています。この指定により、がんの治療方針が進化し、より個別化された精度の高い治療が可能となります。

がんゲノム医療は、がん治療の新たなアプローチであり、患者さん一人ひとりの遺伝子情報を解析し、その情報に基づいて最も効果的な治療法を見つけることを目指しています。従来のがん治療は、がんの発生した部位（例えば、肺がんや乳がん）や進行の程度に基づいて標準的な治療が提供されてきました。しかし、同じ部位にできたがんでも、

患者さんごとの遺伝子的な違いが治療効果に大きな影響を与えることがわかってきました。そのため、がんゲノム医療では、個々の患者の遺伝子の特徴に焦点を当て、これに基づいた個別化された治療を提供することが重要視されています。



### がんゲノム医療がどのように進められるのか？

【遺伝子の調査】患者さんのがん細胞から遺伝子情報を取り出して、遺伝子に起こっている変異（病的バリエーション）があるかを詳しく調べ

ます。この検査を遺伝パネル検査といい、当院と協力関係にある、岡山大学病院

の協力のもと検査結果を患者さんにお伝えします。

【治療の選択】検査結果をもとに、患者さんに最も効果がありそうな薬や治療法を提案します。これにより、その人に合った「オーダーメイドの治療」が可能になります。

【治療の見直し】治療が進む中で、効果が薄い場合や新しい情報が得られた場合には、治療法を変えることもあります。

### どんなメリットがあるのか？

【個別にあった治療ができる】一人ひとりに合わせた治療法を選べるので、これまで効果が出なかった場合でも、より良い治療効果が期待できます。

【副作用を減らせる】必要以上の治療を避け、より効果的な薬を使うことで、副作用のリスクを減らすことができます。

### 【これからのがん治療】

この新しいがん治療は、今後ますます多くの人に提供され、より効果的な治療が可能になると期待されています。



田村副院長を室長とした、がん診療対策推進室のメンバー

### 【注意点】

がんに関わる遺伝子の研究は日進月歩でありその結果の解釈も複雑なものです。パネル検査を行っても、必ず解決方法が見つかるとは限りません。検査の限界もご理解ください。

# 就労支援再開しました。

## 就労支援・がん相談

### 疾病を抱える労働者の状況

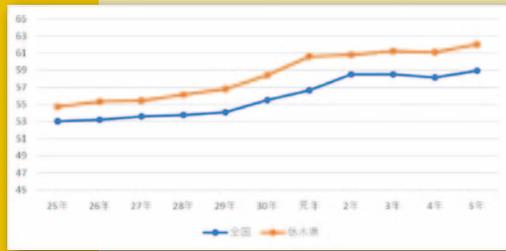
「治療と職業生活の両立支援対策事業」における企業を対象にアンケートを実施したところ、疾病を理由として1ヶ月以上連続して休業している従業員がいる企業の割合は、メンタルヘルス38%、がん21%、脳血管疾患12%でした。国民生活基礎調査によれば、仕事をしながら、がんで通院している方の数は、32.5万人にもなります。さらに、労働安全衛生法に基づく一般健康診断において、脳・心疾患につながるリスクのある血圧や血中脂質などにおける有所見率は53%に上がるなど、年々増加しており、疾患のリスクを抱える労働者は増加傾向にあります。

### 治療と仕事の両立支援とは

がんや脳卒中、糖尿病、難病等の継続的な治療が必要な疾患を抱えながらも、働く意欲のある労働者が治療を続けながら仕事が出来

るよう、企業が一定の就業上の措置や配慮を行なうことを言います。

がん等の病気になるっても、職場の適切な就業措置や配慮によって働き方を調整し、治療と共に働き続けることができるようになってきました。治療と仕事の両立について病院でも、相談が



定期健康診断における有所見率の推移  
(栃木局・全国)

### がん相談支援センター

皆さんは、巷にあふれる情報の「正しさ」について考えたことがありますか。あるデータによると、科学的根拠に基づく情報の割合

いは10.1%であり、間違った有害情報の割合は、38.5%と示されています。がん相談

に来られる方の中には、身近な情報に触れ、正しい情報だと信じて治療を受け、どうにもならなくなり相談に来られる方が少なくありません。誰もが、がんを診断されたことで気持ち揺さぶられ、情報の正しさを判断出来なくなることは当然のことです。そのような時にこそ、がん相談支援センターを利用頂きたいのです。がん相談支援センターとは、全国の拠点病院などに設置され、科学的根拠を基に正確な情報をお届けする役割を担います。がんを診断された方の心情や社会的背景にも目を向け、総合的に支援いたします。情報の質にも目を向け、是非、がん相談支援センターを利用ください。

【ハローワークとの連携相談】  
毎月第3金曜日 13時から15時

### 【社会保険労務士の相談】

毎月第4水曜日

### 【相談内容】

病気における治療や療養に関する相談、就労相談、経済的相談、在宅療養について、制度（勤務制度、傷病手当等）に関する相談、会社と労働者との調整、標準治療やガイドラインについて、勤務と治療の両立支援、緩和ケアについて、患者会について

【相談無料】事前に予約をいただくとスムーズに調整できます。

※相談内容に関してのプライバシーは必ず守ります。



がん相談の専門スタッフ

# +++赤十字って+++



こんにちは、今回は「赤十字救急法等講習」について紹介させていただきますが、いかがだったでしょうか。

「救急法」、「水上安全法」、「健康生活支援講習」、「幼児安全法」は那須赤十字病院にも指導員がおりますので、講習のご希望がございましたら是非当院または日赤栃木県支部までお問い合わせください。

今回は「赤十字の事業について①《国内災害救護》」を知っていきましょう。

## Vol. 7 「赤十字の事業について①《国内災害救護》」

### 1. 医療救護

日本赤十字社では、全国91カ所の赤十字病院をはじめ委託協定を結んでいる公的病院等に常備救護班487班、(5, 231人)を編成しています。この救護班は、医師1人、看護師長1人、看護師2人、主事2人(事務や医療技術職)の計6人を基準としています。日赤栃木県支部では薬剤師を含む7名を基本としています。

常備救護班は日ごろから研修や訓練を重ね、災害時には救護班やdERU(国内型緊急対応ユニット)を派遣し、医療救護やこころのケアなどを行います。

令和6年能登半島地震においても、日本赤十字社栃木県支部管内(芳賀赤十字病院、那須赤十字病院、足利赤十字病院)からは救護班を7班、救護班を統括する日赤災害医療コーディネーターチームを1班、こころのケア班を1班の合計9班を石川県珠洲市へ派遣しており、その中で那須赤十字病院からは救護班2班が出勤しております。

### 2. 救援物資の配分

災害に備えて、日ごろから毛布や安眠セット、緊急セットなど、被災された方々を支える物資を全国各地に備蓄しています。大規模災害などでも円滑に配分が行えるよう、各都道府県の支部、施設で連携した支援体制も整えています。

### 3. 義援金の受付

日本赤十字社は、被災された方々を支援するため、義援金の受付を行っています。受け付けた義援金は、被災地都道府県の義援金配分委員会(被災自治体、共同募金会、日本赤十字社、報道機関等で構成)を通じて、被災者に届けられます。なお、義援金からは手数料などは一切いただきず、全額を被災地へお届けしています。

### 4. その他

前述の救護業務に関連した業務とし

て赤十字では防災セミナーを実施しています。

赤十字防災セミナーは、あなたのまちで災害が発生したときに予想される被害、避難生活などの課題を具体的にイメージしながら、いのちを守るさまざまな方法を地域に密着した形で学ぶことができます。

防災セミナーをご希望の際は、那須赤十字病院または日赤栃木県支部までお問い合わせください。

## 赤十字クイズ?



日本赤十字社の前身である「博愛社」の設立の契機となった出来事は次のどれでしょうか?

①西南戦争(明治10年) ②日清戦争(明治28年) ③日露戦争(明治38年)

答えは、次号で発表いたします。

### 《前号の答え》

令和3年度の救急法基礎講習受講者数は?

②約2万人

全ての講習を合わせると年間28万5千人以上の方が受講されています。(令和3年度)

## NEXT Vol. 8

「赤十字の事業について②《国際活動》」

## 8月 与一まつり、与一踊りで最優秀賞

大田原市の与一まつりは毎年8月の第1金・土曜日の2日間開催されます。那須赤十字病院は8月2日金曜日に職員約120名が与一まつりの与一踊りに参加し、与一踊りの部門で見事最優秀賞を受賞しました。今回の受賞を機に、さらなる飛躍と地域への貢献を目指し、職員一同一層の努力を続けて参ります。



出発前に参加者で記念撮影



最優秀賞を受賞しました

## 8月 夜間防火訓練

防火訓練が年に2回、防災訓練が年1回義務づけられています。8月は夜間防火訓練を実施し、勤務している職員が訓練に参加しました。

次回は昼間の防火訓練を予定しております。



勤務中のスタッフが災害対策本部に現場の状況を報告

## 8月 レスキュー隊派遣に関する協定

那須赤十字病院は、2024年8月26日北関東総合警備保障株式会社（ALSOK）と災害時におけるレスキュー隊派遣に関する協定を締結いたしました。

病院自体が被災、または地域に甚大な被害が発生しても適切な病院運営を維持すること、災害発生時のリスク削減を図ることを目的とし、この協定により災害時にはレスキュー隊を派遣、人的および物的資源の確保が容易になります。



協定時の写真

# 公式 SNS 開始のお知らせ

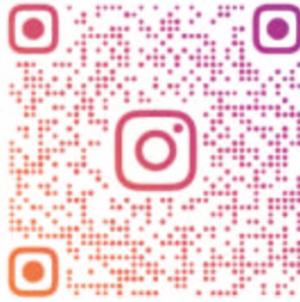
那須赤十字病院代表の公式アカウントと初期臨床研修医のアカウントを作成し運用開始しています。

病院での取り組み、医療スタッフの活動やイベントのご案内などをお届けしてまいります。

是非フォローをお願いいたします。



NASUNISSEKI



NASU\_JRC\_RESIDENT



Facebook アカウント

## 11月より人間ドック新規オプションを開始します

### 〈MCI スクリーニング検査〉

軽度認知障害 24,200 円

### 〈ロックス インデックス〉

脳梗塞・心筋梗塞発症リスク 15,400 円

### 〈アミノインデックス〉

がんリスクスクリーニング検査

+

腫瘍マーカーセット 30,800 円



## 編集後記

「秋の日はつるべ落とし」といいますが、このところ日暮れが早くなるとともに、気温も瞬く間に下がるなど、すでに夏ははるかに遠く、冬の足音が聞こえてきました。

みなさま体調管理には益々気をつけていきましょう！ 医事課 漆原

## 広報誌「プラタなすNo. 42」の訂正とお詫び

2024年8月発行の広報誌「プラタなすNo. 42」において、文章中に誤りがありました。

下記のとおり訂正させていただくとともに、お詫び申し上げます。

| ページ | 正                                  | 誤                                  |
|-----|------------------------------------|------------------------------------|
| 4   | 「健康生活支援講習」健やかな高齢期をすごすために、必要な知識と・・・ | 「健康生活支援講習」健やかな高齢期をすごすために、必要名知識と・・・ |

## 那須赤十字病院

基本理念

マイタウン・マイホスピタル

～地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院に～

基本方針

1. 赤十字基本原則に則り、地域のための医療を提供します。
2. 患者さんの立場を尊重し、患者さんに信頼される病院をつくります。
3. 日々の研鑽を惜みず、医療の質の向上に努めます。
4. 保健・医療・福祉施設との連携を密にし、地域医療の発展につくします。

## プラタなす 那須赤十字病院広報誌プラタなす No.43

発行日 2024年11月

発行者 那須赤十字病院 〒324-8686 大田原市中田原1081番地4

TEL 0287-23-1122 FAX 0287-23-3004

URL <https://www.nasu.jrc.or.jp> 印刷 株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷